

十一月・十二月の行事

校区老人会グラウンドゴルフ大会 11月7日(土) 8:00受付 掬水小学校グラウンド
榊田川クリーン作戦 11月8日(日) 8:30受付 第一水源事務所 集合
榊田地区文化祭 11月14日(土) 13:00~17:00 11月15日(日) 9:00~15:00 榊田地区市民センター
親子ふれあいスポーツ教室 12月5日(土) 10:00~12:00 掬水小学校グラウンド
草刈り十字軍 12月上旬 松阪市総合運動公園

# 榊田川クリーン作戦

◎11月8日(日) (少雨決行)  
◎第一水源地事務所  
榊田橋より左岸(豊原側) 上流 800メートル  
◎8:30~受付 9:00~11:00 清掃  
\*清掃用具、ふるまいの数の把握のため、参加受付をしますが、当日の参加もO.K.です!  
\*作業のしやすい服装・タオルご持参でお越しください。(お茶、清掃用具は用意します。)  
\*好評の里芋汁、今年も用意しています。  
ご家族、ご近所、お友達など、みんなでワイワイ楽しくやりましょう!!



掬水まちづくり協議会  
たより  
平成27年11月1日  
掬水まちづくり協議会  
112号



※作品展示のほか、参加できるコーナーや即売など盛り沢山です。みなさん、お気軽にお越しください。

- ・ 菊鉢展示
- ・ サーターアンダギー販売

11月14日(土)  
午後1時~午後5時  
11月15日(日)  
午前9時~午後3時

榊田地区市民センター  
1階ホール  
・ 作品展示・即売  
1階和室  
・ お茶会  
2階大会議室  
・ 作品展示  
2階小会議室  
・ 健康測定  
玄関前

## 文化祭 開催



10月24日(土)、清水町のはつらつクラブのやさしい畑でさつまいもの収穫祭が行われました。参加者数は70名で、快晴に恵まれ皆で楽しく掘っていました。(うれしいお土産)付きで、みんな笑顔で帰ってゆきました。

さつまいも、たくさん掘れたよ!!



10月27日(火)、榊田地区市民センターで、平岡令孝さんを講師に招いて健康講座が定員を超える参加者数43名で開催されました。  
(ロコモ)とは骨や関節、筋肉など、体を支えたり動かしたりする機能が低下し、移動に障害が出た状態のことを言います。平岡先生のジョークを交えての講義は、笑いの絶えない和やかな雰囲気の中でロコモ予防の要点の説明と実技をし、大変好評でした。  
平岡先生の、「絶対にやらなければいけないと思わず、1回でも疲れたところでやめる。毎日楽しんで続けることが大切。本当の福祉は予防!」という言葉が印象的でした。

からだを動かして  
ロコモ予防!

「三角亭物語」(一)

角田 夏夫著

一、堀川塾

元禄十六年(一七〇三)十月、伊勢ノ国、豊原の古びた大きな萱葺の家に、男の子が生まれ、幼名を総四郎と名づけられた。

この家の先祖は小四郎晴重といい、佐々木高綱の子孫で、江州奥田の庄を領し、奥田氏と称した。

後に越前の豊原に移り、九代清十郎忠重の時代になって、一族を率いて伊勢の国、榎田川の辺に移住し、このあたりを開拓して、越前にいたときの地名と同じ豊原と呼んだ。

忠重の孫、吉久は寛永八年(一六三二)に、領主藤堂高次に謁して、この地方の大庄屋を命ぜられて、これから代々、この職を継いだ。

吉久の子は義則、義則の子は士救、号は宜休という。総四郎は士救の次男として生まれた。

この総四郎、幼少から学を好み、その上達は周囲の人々の眼を見張らせるほどであった。十三歳の時である。外祖父の弟に当たる、柴田嶺州を師として松坂まで通った。

この翌年、師が宇治に移った

ので、これに従って宇治にゆき、そこに寄寓すること四年、その間、休むことなく勉学を続けた。この嶺州は、かつて山崎闇斎の門下で、当時、かなり知られた学者であった。

この頃、師の闇斎は既に天和二年(一六八二)に六十五歳でなくなっている。

総四郎、宇治にあること四年。師は、ある日彼にむかつて、こう告げた。

「これ以上、お前に教えるものは何もない。これからは、天下第一等の師について学ぶべきである。今、京師に伊藤東涯あり、世に得難き師とは、この人をいう。お前はこれから京に往つて、この人に学んだらよい。」総四郎は師の意見により、京へ赴くことを決意し、一旦、豊原に帰省した。十八歳になつてゐる彼は、既に名を士亨と改めている。

この時期、江戸の藩邸が火災にかかり、藩庁が多事で、なかなか京都遊学の許可が得られなかった。この命を待ちながら、士亨は郷里の榎田にあつて、昼夜の別なく、しきりに弓馬の術を学習した。彼が後年、馬術を好み、屋敷内に馬を乗り廻すのは、この頃習得したものである。こうして一年たった。享保六年(一七二二)になつて、ようやく許可を得たのである。

※今月号から奥田三角に関する読み物である角田夏夫著「三角亭物語」より第一章「伊勢の三角亭」を8回に分けて掲載します。尚、出版元の北方文化博物館様のご厚意により転載の許可を頂いております。

「存じですか？」

「自転車事故の大半は「自転車に違反あり」

一時不停止、信号無視など、ルール違反している自転車利用者をよく見かけますが、警察の全国統計によると、自転車事故のうち、自転車に何らかのルール違反が認められる事故が大半を占めており、自転車のルール違反は、周囲の車や歩行者に迷惑をかけるだけではなく、自転車利用者自身の生命にもかかわる(死亡事故のうち72%が違反者!!)大変危険な行為です。

平成27年6月1日施行の道路交通法一部改正では、所定の違反行為(危険行為)を繰り返した自転車利用者に対する講習(自転車運転者講習制度)が新設されました。これを機に、自転車利用者には、どんな行為がルール違反になるのかを確認し、安全通行に努めましょう。

作ってみませんか

「家庭でできるコンポスト」

平成26年度の松阪市内で排出されたゴミの総量は56,198tです。このゴミ処理にかかる費用は年間約17億円で、市民1人あたりに換算すると、年間1万円の費用がかかる事になります。この費用がすべて私たちの税金で賄っているのです。又、ゴミの内訳をみると、全体の約88%が燃えるゴミで、さらにその約20%が生ゴミです。そして、その生ゴミの約80%が水分なのです!ゴミを減らすことは勿論、ゴミの水分を最小限にすることがゴミ減量に大きくつながります。

このゴミ減量とともに家庭菜園にも大いに役立つのが、家庭で生ごみを堆肥化する「ダンボールコンポスト」です。

その名のごとく、ダンボール箱を使って肥料を作る方法で、生ゴミの他に、ピートモス・もみ殻くん炭と一緒に入れてダンボール箱の中で発酵させて作り出す。専用のゴミ処理機を使わず、気軽に各家庭で取り組めます。

松阪市内でも、「飯南町生ゴミ堆肥化研究グループ」や、「生ご

みりサイクル亀さんの家」などいくつかのグループが取り組んでいます。できあがった堆肥で作った野菜を売ったり、綿を作ったり・・・と楽しみながら活動しています。又、環境学習に取り入れている小学校もあり、子ども達自身で作った肥料で学校の畑の野菜を育てています。この様に、堆肥作りは単にゴミを減らすだけでなく、地域の交流や食育にも役立っています。

松阪ダンボールコンポストの会では、ダンボールコンポストの普及を目的にダンボール素材一式とピートモス・もみ殻くん炭のセット(生ごみ堆肥化容器等補助金に適用)販売や、作り方、管理方法等の指導にあたっています。又、少人数のグループや小学校などを対象に講座を開いています。興味のある方は・・・

松阪ダンボールコンポストの会  
代表 柴田 実 さん  
☎090・9916・8421  
までお問い合わせください。

